

大分県人権教育・啓発推進協議会 令和6年度事業報告

1 事業報告

本協議会は、部落差別問題（同和問題）の啓発を目的に、昭和57年に「大分県同和問題啓発推進協議会」として設立した。その後、同和対策特別措置法等による特別対策が平成14年に終了したことを受け、「大分県人権教育・啓発推進協議会」として、部落差別問題（同和問題）をはじめとする様々な人権問題の解決に向けた県民啓発を総合的かつ効果的に推進していくこととした。

令和6年度は、行政機関をはじめ各団体等の相互連携を図り、県民一人ひとりが人権尊重の担い手であることを認識できるよう、次の3つを柱として事業を実施した。

（1）人権尊重の心づくりの推進

- ・ 部落差別をはじめ、不当な差別解消に向けた取組を進める8月の「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」及び、人権の理解を深める12月4日から10日の「人権週間」における行事等を県等と共催し、県民の人権意識の高揚を図った。
- ・ 人権週間の啓発として、「人権啓発フェスティバル」では新たにユニバーサルスポーツ『バグギー』の体験コーナーやオリジナル絵本を作成するワークショップを設けるなど、幅広い層をターゲットにした多様なイベントを企画し、多くの方の参加につながった。
- ・ Y o u T u b e 広告や、新聞、映画館におけるシネアド、街頭ビジョン等の活用や、県立図書館での企画展示など、日頃啓発活動に接する機会の少ない人々に対しても広く啓発を行ったほか、大分県人権啓発イメージキャラクター「こころちゃん」を活用し県民に親しみやすい教育・啓発活動を実施した。
- ・ 「マジョリティ特権」をテーマに講演会を開催し、一人ひとりが人権課題を自分ごととして捉え、無自覚な差別に気付き、行動変容につなげるための取組を行った。

(2) 人権啓発のひとづくりの推進

- ・ 企業・団体や地域社会において、部落差別問題をはじめとした人権課題を深く認識し、その解決を図ろうとする意欲と実践力を持ったリーダーを養成するほか、本協議会に登録された人権啓発講師の派遣等により、企業・団体等の自主的な研修の取組を支援した。
- ・ 人権啓発講師を対象に、部落差別問題や性的少数者の人権問題をより深く学ぶ研修や、わかりやすく伝えるための手法及び参加体験型講座（ワークショップ）を行うファシリテート技術を習得する講座を実施し、講師のスキルアップを図った。

<人権啓発講師登録・派遣状況>

○R 6 年度登録数	7 1 人
○派遣件数	1 6 5 件
○受講人数	1 1, 6 2 1 人

(3) 人権啓発のものづくりの推進

- ・ 人権・部落差別問題に関する資料や書籍、DVD等ライブラリーを整備し、県の人権情報プラザの運営に連動させて啓発資料の利用を促進した。
- ・ 「啓推協だより」の発行等を通じて、研修会や各種啓発イベント等の情報提供を行うとともに、講師派遣事業や啓発資料の活用を促進した。

<人権情報プラザ利用状況等>

	[整備状況]	[R 6 年度利用状況]
○書籍	5, 0 0 1 冊	4 7 5 冊
○DVD	1 4 2 本	1 5 3 本
○パネル	3 2 枚	4 8 枚

(R7. 4. 1 時点)

1 人権教育・啓発の推進

(1) 人権尊重の心づくりの推進

事業の概要	備考
①人権ポスターの募集 人権問題に関するポスターを広く県民から募集し、人権問題について考えてもらう機会を提供するとともに、優秀作品については、表彰・展示を行った。 また、啓発ポスターをはじめ様々な啓発資料としても活用した。 ○応募点数：813点 ○入賞：最優秀賞4点、優秀賞8点、奨励賞36点、学校奨励賞5校 ○表彰式・展示 ・「ヒューマンフェスタ2024おおいた」（大分市ガレリア竹町ドーム広場）で表彰 ・県議会ロビーにて展示 ・OPAM（大分県立美術館）にて展示	募集期間： 7/1～9/11 11/23 11/27～12/10 12/11～12/23
②差別をなくす運動月間（8月）：部落差別解消に向けた取組 8月の「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」中、ポスターの掲示や県立図書館での企画展示等、部落差別の解消に向けた啓発を集中的に行った。 ■YouTubeバンパー広告による啓発 「部落差別につながる身元調査追放」ポスターをYouTubeバンパー広告に掲出 表示回数：348,459回 ■県立図書館企画展「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」 部落差別をはじめとする人権課題に関する図書や資料を展示 ■部落差別等あらゆる差別をなくす運動月間「県民講座」の開催 ○場 所：アストくにさき アストホール ○参加者：一般県民500人 ○内 容：講演会「部落問題を通して考える日常の中の差別」 講師 上川 多実氏（BURAKU HERITAGE 運営メンバー）	8月 8/1～8/31 8/1～8/31 国東市共催 10/10 ※会場の都合で 10月開催
③「ヒューマンフェスタ2024おおいた」の開催 楽しみながら人権に触れ人権感覚を磨いてもらうため、多様な人権課題に関する多彩な催し（参加型を含む）を開催した。 ○場 所：ガレリア竹町ドーム広場（大分市） ○参加者：一般県民、行政、団体等 約2,000人 ○行事内容 【ステージイベント】 ・隣保館活動紹介 ・人権作品表彰式 [ポスター、標語、作文] ・仲道裕馬 書道パフォーマンス ・小さな手話レッスン ・ベビー・ヴァギー にじいろトークショー ・スマイルス ダンスパフォーマンス ・Dee Dee's LOVEライブ ・ダイナマイトしゃかりきサ〜カス ハートフルコンサート ・望月ゆうさく ジャグリングショー ・フィナーレ	11/23

(1) 人権尊重の心づくりの推進

事業の概要	備考
【会場イベント】 ・絵はがき作りワークショップ、ほのぼの写真コンテスト写真展示 (法務局、県人権擁護委員連合会) ・隣保館活動紹介コーナー(県隣保館連絡協議会) ・人権DVD鑑賞コーナー(県人権・部落差別解消教育研究協議会、県) ・人権啓発コーナー - 女性に対する暴力防止、知ってほしいな！里親制度(NPO法人chies) - 発達障がい啓発・相談(NPO共に生きる)、多文化共生社会を考えよう！ - 性的少数者の人権に関する啓発(SOGIEおおいた・多様な性への理解を広げる会) - 高齢者の人権に関する啓発、働き方のトラブル相談 - 臓器移植・骨髄バンク、ハンセン病・原爆パネル展示 ・人権クイズラリー ・マルシェコーナー(一般社団法人おおいた共同受注センター会員事業所) ・ユニバーサルスポーツ体験コーナー(運営協力/大分県レクリエーション協会) ・人権作品展示コーナー・オリジナル絵本と書のワークショップ&プレゼント	
④マスメディアを活用した啓発の実施 ○新聞広告の掲載(大分合同・読売・朝日・毎日) ・ヒューマンフェスタ2024(11/23)、人権週間(12/4~10) - 北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12/10~16)、人権相談ダイヤルの周知広告 ○人権啓発動画の放映 - 人権週間、北朝鮮人権侵害問題啓発週間の周知を含めた人権メッセージ動画の放映 - 人権作品優秀作品を活用した人権週間啓発動画の放映 ・街頭ビジョン(ギャラリー竹町、セントポルタ中央町) ・シネアド(TOHOシネマズ大分わさだ・アミュプラザおおいた) ・YouTubeバンパー広告	11/16 12/1~31 11/29~12/26 12/1~31
⑤重点啓発事業 行政職員や企業・団体、一般県民の一人ひとりが人権課題を自分ごととして捉え、無自覚な差別に気づき、行動変容につなげるきっかけとすることを目的として、「マジョリティの特権」をテーマに講演を実施した。 ○開催方法：オンラインライブ配信・録画配信 ○内容：マジョリティ特権に関する講演会 講師 立教大学大学院社会デザイン研究科特別研究員 西井 開 氏 <私たちは何を免れているのか？～マジョリティ特権を自覚するための基礎講座～> ○参加実績：238名	2/13
⑥公正採用に向けた取組 企業・団体啓発リーダー養成講座内で研修を行うほか、大分人権啓発企業連絡会等を通じて啓発を行った。	

(2) 人権啓発のひとづくりの推進

事業の概要	備考
①人権啓発講師向け研修会 ■人権啓発講師研修交流会 登録講師を対象として、講師登録・派遣事業の趣旨、人権啓発講師としての活動内容や県等が実施する研修等の年間事業計画の周知を行うとともに、人権課題に関する研修及び講師間の交流会を開催した。 ○内容：県の事業説明等（今年度の事業計画、講師登録及び派遣事業、パートナーシップ宣誓制度、県民意識調査結果）、性の多様性に関するトークセッション、交流会（グループごとの意見交換、発表） ○場所：県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス大会議室 5/27 ■実践型講師フォローアップ講座 登録講師を対象に、各種人権課題のより深い知識及び効果的な講演技術の習得とともに、講師間の自主的な研鑽活動を促すための交流・仲間づくりの機会の提供を目的とした研修を実施した。 【第1回】研修Ⅰ テーマ：人権課題のより深い知識を学ぶ①『部落差別問題』 講 師：ジャーナリスト（元西日本新聞記者） 馬場 周一郎 氏 第1回 (10/18) 研修Ⅱ テーマ：人権課題のより深い知識を学ぶ②『性的少数者の人権問題』 講 師：SOGIE(LGBT)サポーター・ムジカ！ 共同代表／弁護士 森 あい 氏 第2回 (10/28) 【第2回】研修Ⅲ テーマ：講義に実践できる「わかりやすく伝えるための手法」等 講 師：株式会社 calla 代表取締役／元OABアドバイザー 高嶋 和代 氏 ○場所：県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス大会議室 ○参加講師数：延べ 40名 ■ファシリテーター養成講座 登録講師を対象に、人権研修の参加者の理解をより深めるための効果的な手法として、参加体験型（ワークショップ）研修を行うファシリテート技術を習得し、講師活動に活用してもらうことを目的とした研修を実施した。 【第1回：基礎編】ワークショップ型の人権学習の意義、参加型学習の特徴や必要性 第1回 (2/4) 【第2回：応用編】ファシリテーターとしての役割、学びが深まる人権学習・啓発の技法 第2回 (2/26) 講 師：桜井・法貴（S＆H）グローバル教育研究所 代表 桜井 高志 氏 ○場所：県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス大会議室 ○参加講師数：延べ 27名	
②人権入門講座 人権に関わる活動を実践しているNPOやボランティア団体、人権問題に関心がある県民を対象に、分野別課題の基礎知識を習得する講座を開催した。（4日間開催） また、全講座受講者を来年度からの人権啓発講師候補とし、登録依頼を行った。 ○開催方法：会場（県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス大会議室） オンラインリアルタイム配信、録画配信（期間限定、受講者に限る） ○参加実績：193名	7～8月（4日間）

(2) 人権啓発のひとづくりの推進

事業の概要	備考
【第1回】 1.人権総論 県人権尊重・部落差別解消推進課 2.女性の人権問題 県人権啓発講師 進 美保子 氏 <らしく・らしく・自分らしく> 3.性的少数者の人権問題 NPO 法人ASTA 松岡 成子 氏 ほか（オンライン登壇） <LGBTQ+ 出張授業> 【第2回】 4.高齢者の人権問題 元大分県立病院看護師 大坪 洋子 氏 <終末期の看護から命の尊厳を考える～人生会議に役立つ事例から～> 5.外国人の人権問題 多文化共生マネージャー 森川 寿子 氏 <多文化共生時代の人権 海外にルーツを持つ人(外国人)と日本人の人権> 【第3回】 6.障がい者の人権問題 車いす youtuber「現代のもののけ姫 Maco」 渋谷 真子 氏 （オンライン登壇） <車椅子ユーザーになって分かったこと> 7.医療をめぐる人権問題 豊後大野市病院事業管理者 兼 病院長 木下 忠彦 氏 <記事から見る医療をめぐる人権問題> 【第4回】 8.こどもの人権問題 NPO 法人子育て応援ワクワクピース 漆間 文代 氏 <子ども真ん中社会の実現にむけて> 9.部落差別問題 人権ジャーナリスト（元西日本新聞記者）馬場 周一郎 氏 <～現状を知り、解決への課題を考える～>	第1回 (7/18) 第2回 (7/23) 第3回 (8/21) 第4回 (9/19)
③「人権啓発市町村職員研修」 市町村における人権啓発活動及び人権施策の推進に資することを目的に、市町村職員を対象に研修会を開催した。※「人権入門講座」と同時開催	※②と同時開催
④企業・団体啓発リーダー養成講座 企業や各種団体における人権啓発推進のため、企業や各種団体内に高い人権意識を持つリーダーを養成するための講座を実施した。 ○開催方法：オンライン開催 ○参加実績：33団体 44名 【第1回】 1.行政説明 県人権尊重・部落差別解消推進課 <大分県の人権施策> 2.性的少数者の人権問題 認定特定非営利活動法人ReBit（リビット） キャリア事業部 マネージャー 三戸 花菜子 氏 キャリア事業部 講師 瀬古 知沙 氏 <多様な性ってなんだろう？～すべての人にとって安心・安全な職場づくり～> 3.部落差別問題 元朝日新聞論説委員 臼井 敏男 氏 <部落差別をこえて ～取材ノートから>	9,10月（2日間） 第1回（9/26）

(2) 人権啓発のひとづくりの推進

事業の概要	備考
【第2回】 4.ハラスメント 株式会社ハートセラピー 教育事業部長・研修講師 大美賀 直子 氏 <職場がイキイキ活気づく！ハラスメントのない職場づくりのポイント ～パワハラ、セクハラ、マタハラ、カスハラ対策を万全に～> 5.女性の人権問題（ジェンダー） 大分大学学長特命補佐(ダイバーシティ,男女共同参画担当) 松浦 恵子 氏 <いまこそダイバーシティを学ぼう>	第2回（10/2）
⑤企業・団体への人権啓発講師の派遣 企業や各種団体が実施する人権啓発研修に、人権啓発講師を派遣した。 ○派遣件数： 165件 ○受講人数：11,621人 ○テーマ：部落差別問題、ハラスメント、性的少数者、インターネット等	
⑥人権啓発講師研修派遣 人権啓発講師の資質向上のため、研修会に派遣した。※例年は県外研修へ派遣しているが、R6年度は県内で大規模な研修が開催されたため、当該研修に派遣した。 ○第49回部落解放・人権西日本夏期講座 19名 日程：R6.6.13～14 会場：別府国際コンベンションセンター・ビーコンプラザ	

(3) 人権啓発のものづくりの推進

事業の概要	備考
①機関誌「啓推協だより」の発行 啓推協構成団体による啓発の一体的な取組の推進を図るため、行政・啓発関係情報の提供を行った。 ○No.98、99、100号発行 ○各2,900部	4月、7月、10月
②人権ライブラリーの整備、図書管理・検索システムの運用 人権課題に関する図書やDVD等を購入し、啓発資料・教材の充実及び「大分県人権情報プラザ」の活用促進を図った。 ○図 書：5,001冊 ○DVD： 142本 ○パネル： 32枚 (令和7年4月1日現在)	
③人権教材・啓発パネル・ころちゃん着ぐるみの貸出し 市町村、企業、団体等の啓発活動のため、人権教材の貸し出しを行った。 ○図書：475冊 ○DVD：153本 ○パネル：48枚 ○着ぐるみ：1回 (令和7年3月31日現在)	
④啓発資料等の購入・配布 人権問題に関する正しい知識を身につけてもらうため、各種啓発資料を購入し、人権啓発講師による研修等において活用した。	

2 運営推進

(1) 会議の開催等

事業の概要	備考
①総会の開催	7/17